

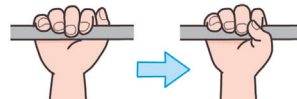
資料① 「固定施設を使った運動遊びの行い方」と 「運動遊びが苦手な子供への配慮の例」

場や器械・用具の準備の仕方の例

- ・活動をする場に危険物がないか気を付けて、見付けたら教師に知らせましょう。
- ・運動を使う用具は、決まった場所から使うものだけを取り、使い終わったら片付けましょう。
- ・安全に運動遊びができるように、服装が整っているか、友達と確かめ合いましょう。



固定施設の棒は、親指が棒の下側になるように握りましょう。



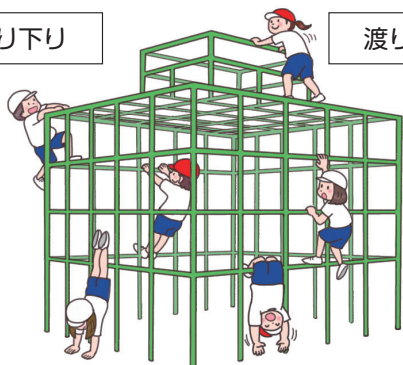
グループごとに回ります。すべての固定施設で遊べるようにしましょう。

ジャングルジム

● 運動遊びの行い方の例

登り下り

渡り歩き



逆さ姿勢

ジャングルジムでは、登り下り、渡り歩き、逆さ姿勢などをして遊びます。

● 運動遊びの行い方の例



高いところが少し怖いな。



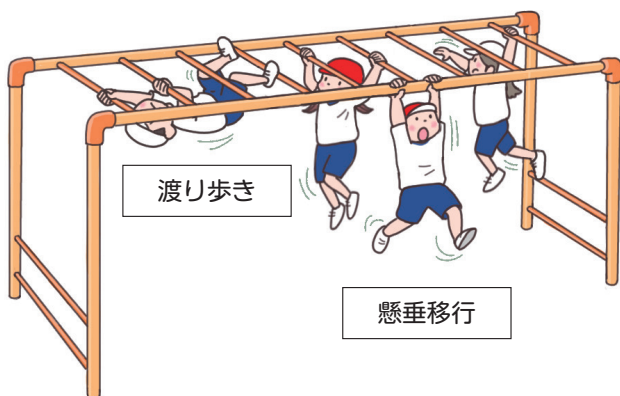
高さに慣れるまで、まずはジャングルジムの低い場所で渡り歩きや登り下りをするとういす。低い場所に鈴を付けることで、運動が苦手な子供も安心して運動遊びに取り組むことができます。

雲梯

● 運動遊びの行い方の例

渡り歩き

懸垂移行



雲梯では、懸垂移行や渡り歩きなどをして遊びます。

● 運動が苦手な子供への配慮の例



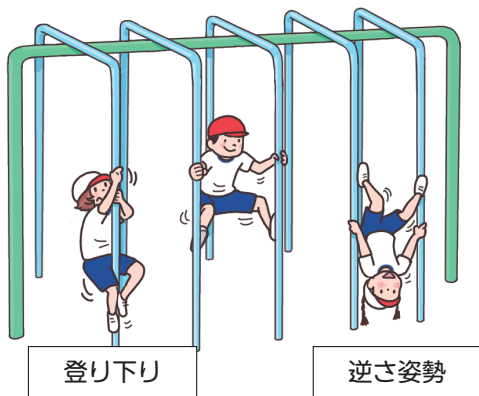
雲梯を進むことができないよ。



体を揺らして移動することが苦手な子供には、体を支えて移動できるように補助したり、少し斜めを向いた姿勢で片手ずつ動かしたりして移動できるように助言するとよいです。

登り棒

●運動遊びの行い方の例



雲梯では、登り下りや逆さ姿勢などをして遊びます。

●運動が苦手な子供への配慮の例



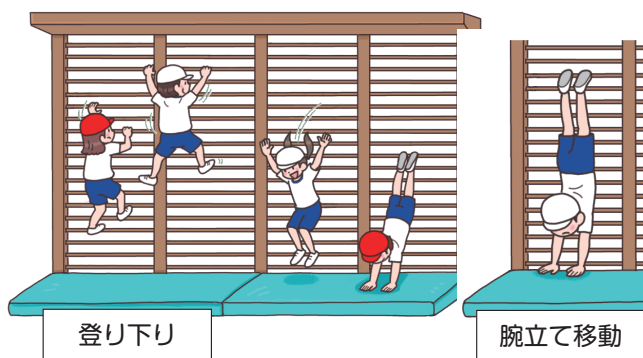
足が滑って登り棒を登ることができないよ。



足が滑って登ることが苦手な子供には、ハチマキなどを巻いて節をつくり、足が滑らないようにするとよいです。

肋木

●運動遊びの行い方の例



肋木では、登り下りや懸垂移行、腕立て移動などをして遊びます。

●運動が苦手な子供への配慮の例



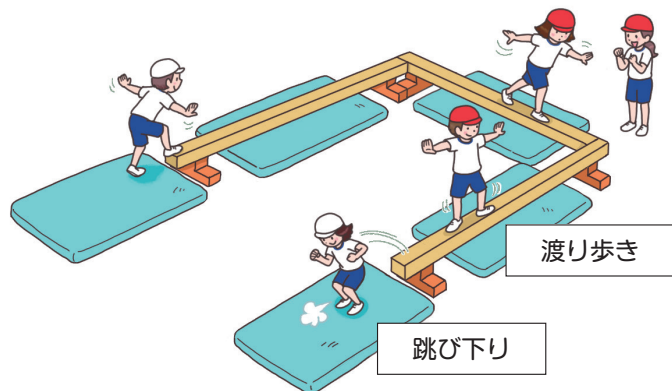
横に渡ることができないよ。



ぶら下がり移動することが苦手な子供には、足を上げてポーズをとったり、足を振ってみたりすることで、ぶら下がることに慣れるようにするとよいです。

平均台

●運動遊びの行い方の例

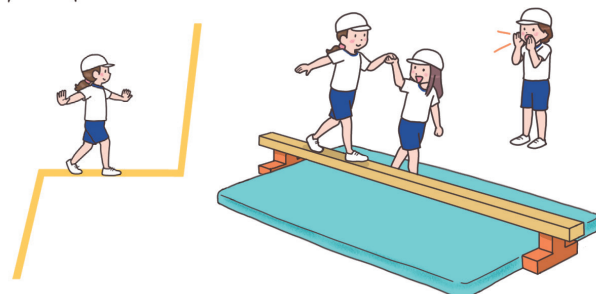


平均台では、渡り歩きや跳び下りなどをして遊びます。

●運動が苦手な子供への配慮の例



平均台から落ちそうで怖いよ。



平均台の上でバランスを保つことが苦手な子供には、体育館の床のライン上で姿勢よく移動ができるように歩いたり、手をつないで支えてあげたりするとよいです。